

労農連帯を一層強め、三里塚・ジェット闘争を貫徹しよう!

# 革マル分子による破壊策動を粉碎し、3.30臨大を圧倒的に成功させよう

## 「執行権停止」をはねかえし、動労大改革、80年代労働運動の戦闘的再生を!

本日の臨大に結集されたみなさん。全組合員のみなさん。決定的段階をむかえた今日、ますます明白となった事実は、動労の戦闘的伝統を正しく継承しているのは、千葉地本をはじめとする、全国の真面目に闘う戦闘的・良心的仲間の中にあり、これに敵対し、動労の変質・私物化をたくらむ革マル分子を打倒する闘いに勝利するなかのみ、迫りくる侵略と反動の大攻撃に抗し組合員の階級の利益を守りぬき闘い抜く動労の路線が確立されるのである。そして、千葉地本に対する「執行権停止」ー組織破壊攻撃にあらわれた、密集せる反動と対決する闘いは、動労の戦闘的伝統と栄光を復権させるだけでなく、鉄労との統一を叫ぶ「富塚提案」にみるまでもなく危機にたつ総評労働運動にカッを入れ、八〇年代労働運動の展望を切り開く闘いである。

### 津田沼支部の名をかたり 謀略「ピラ」を送付!

一四〇〇組合員・家族のこうした決意と展望の中で、追いつめられた革マル分子は、なんとか「3・30臨大」を破壊せんとさまざまな敵対行為を開始している。

- ①、3・19、20以降、無差別に支部役員・組合員宅へ「なんとか個人的にでも会ってくれないか」などと電話でなきつき、一蹴される。
- ②、三月二十八日、一七時五〇分蘇我・宇佐美支部長宅へ本部・鈴木真一より「地本臨大に出ずに、本部臨大に出席してほしい」「そちらの状況はどうですか」などと猫なで声で電話してきたが毅然と拒否される。
- ③、同日他の地本大会代議員全員にも、本部の名をかたり同内容の電話がかかっている。
- ④、地本青年部三役を除く、全ての常任委に対し、手紙、電話、はては、電報により「三月一日に千葉地青再建会議を行うので出席してほしい」「フザケルナ!!」という内容で介入。
- ⑤、三月二十八日、木更津支部になんとおどろくべきことに、「津田沼支部」の名をかたって、「千葉地本問題に最後の切開を」なるピラを送付してきた。〈写真参照〉

この謀略の手口のピラは、「発行不明」で、ただ「清水清敏」なる個人名らしきものが記入されたかのようによそおっている。もちろん内容は千葉地本破壊の意図でつらぬかれている。これこそ、「水本謀略」物語りを平気でデッチ上げ、動労組合員をベテランにかけて平然としているという謀略党派革マル派の手口そのものではないかわれわれは、このようなうす汚い謀略的攻撃を断乎粉碎する! 更に「3・30地本臨大」は、三月一九日に指令

され、「第五三回定期地本委員会を確認」された大会であり、全く規約上はもちろん内容的にも問題は無い。われわれは、三月二〇日に「通告」したと称する「執行権停止」なるものを絶対認めない。それは、規約・規則にてらして見ても、完全に不法・不当であり「無効」であることは明白なものである。

ましてや、「千葉地青再建会議」(三月三十一日本部)に参加して欲しい」等に至っては全くのお笑い草である。組織運営上執行権を持たない青年部が三月三十一日という日を選んで集まり、何をしようとしているのか、狙いはみえみえであり、臨大委(三月三〇日)傍聴の名をかきた、臨大破壊、組織解体の攻撃であることは明白である。

### あらゆる反動を粉碎し飛躍をかけた、総決起しよう!

もはやいかなる反動をもってしてもわれわれの決意をとめることは出来ない。この間の闘いに示した、一四〇〇組合員の底力をもって、全国で明らかに、胎動しはじめた、動労改革運動の先頭に立ち大胆に進進してゆこう。



全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ!